



## 6 パックテスト使用の注意点

パックテストは簡単な原理ですが、操作に誤りがなければ、正確な結果が得られます。パックテストの測定値に、誤差やバラツキが現れる原因として次のことが考えられます。

### 採水用具によごれや前に調査した水がついている

採水用具は必ず「共洗い(ともあらい)」をしましょう。共洗いとは、採水の直前に川の水で容器を2～3回すすぐことです。

### 排水路の水や流入水の影響

川の水をとる場合は、無理をしない程度に岸辺から離れたところで(理想的には流れの真ん中あたりの)水をとってください。また、水を持ち帰って測定する場合は、採水ビンに空気が残らないようにしましょう。

### 川の水をとるときに、川底の泥がはいっている

川底の泥がはいると測定値がくるとってきます。浅い川では、川底の泥を舞いあげさせないように気をつけましょう。

### 手がよごれている

お化粧のクリーム、料理をした手、汗がついた手であつかうと、値がちがってきます。測定する川の水や水道の水で手を洗ってください。

### パックに吸いあげる水の量

できるだけパックの半分になるまで水を吸いあげてください。水の量が少ないと色が濃くなる場合があります。

### 水温と測定時間

時間が経過すると色が変わっていきます。特に、温度との関連が大きいCODの場合は指定時間に気をつけてください。

### 色の判定基準

比色(ひしょく)には個人差があります。比色のコツは次のとおりです。  
・直接日光の当たらない、日陰や室内でおこなってください。  
・比色表の白い部分にチューブの背面をつけて色をくらべてください。



※高い値が出たからといって、その値をそのまま信用することは危険です。専門家でも、異常に高い数値がでたときは、何回か繰り返したり、別の方法によって数値の再現性を確かめています。